

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2007-2008



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760  
国際ロータリー第2760地区ガバナー 江崎 柳節

シカゴの至宝【撮影 江崎 柳節】

## ガバナー月信 No.4



ロータリーは  
分かちあいの心

2007~2008年度  
国際ロータリーのテーマ

### 特集 CLPを解剖する (ガバナーメッセージ) .....2

職業奉仕月間に寄せて.....5	職業奉仕委員会委員長会議.....11
米山月間によせて.....6	会議開催のお知らせ(10月に開催予定の会議).....12
ガバナー公式訪問報告.....7	その他お知らせ.....13
2006~2007年度 青少年交換派遣生帰国報告会.....10	インターネット速報・文庫通信.....14
	会員出席率報告(8月分).....15

# 10月

2007年10月1日発行

One Difference 違いをもたらそう 2007~2008年度  
国際ロータリー第2760地区のテーマ



## Governor Message

### クラブ・リーダーシップ

クラブ会長各位

クラブ幹事各位

4ヶ月が経ちました。皆様お元気にロータリーをエンジョイして頂いていますか。たかがロータリー、されどロータリーとは昔からよく云う言葉ですが、之が実に言い得て妙な言葉ですね。これの深層の意味はこうではないでしょうか。常に正対していなくても良いが常に視野の中からは外さないように。

人生の主関心事がロータリーであって道を外した人が無いことはアーサー・シェルドンの“原因結果論”で示されていますが、これを私たちに了解できるように与えられている指針が決議23-34なのでしょう。

今月はクラブによってはストレスと感じられているかも知れないCLPについて述べてみたいと思います。

2004年11月の国際ロータリー理事会が、各クラブに対して、クラブが活性化し、安定、成長し“効果的なクラブになるためには、CLPによって毎年クラブの見直し（棚卸し）をしてみてもどうか。これを習慣付けるとクラブが必ず良くなることをRIが検証した結果クラブに検討するよう推奨したことにはじまります。ただしRIはクラブの運営にまで干渉する立場にないからこの検討はクラブ裁量権の中のものであることは言うまでもありません。ただし地区では今年度、来年度CLPのクラブ毎の検討、理解は必ずするようにおねがひしています。これは次年度片山年度にスムーズに引き継ぎできるように両者の間で合意していることでございます。

考えてみますと、ロータリーの運営を考えると、このクラブはどんな特徴を持っていて何処に長所、欠点があり問題箇所をどう修正するか。ということを的確に客観的に評価する方法は実に難しいことで科学的計量的になる基準がロータリーには無かったと思います。それがために毎年“例年並み”“当たらず触らず”の基本方針が中心にあったことは否定できないことであります。“ロータリーに変えなければならないものと変えてはならないもの”があるという常習的な言い回しの中に“変えて波紋を起こしたくない”というある種の詭弁が入っているように思われてならないのは私だけではないと思います。

ここでCLPが日本中で（世界では了解済みのクラブが殆どで72%、検討していないクラブは28%の可成りの部分は日本のクラブだと思われま）アレルギー現象を起こしている原因を探ってみましょう。

#### 1) クラブで話し合わない内は会員が理解できないこと。

これはその通りだと思います。現クラブ会長さんがエレクトの時に“会長要覧”と一緒に“クラブ・リーダーシップ・プラン (245-JA)”というRIから送付された国際標準テキストをお渡ししてあります。その上、クラブ会長要覧は殆どがCLPの解説書のような内容であり、クラブ運営はCLPを基準に施行する指針が記されています。当たらず触らずの儘にしておきますと次年度以後の会長がRIからの情報も徐々に理解できにくくなり、ロータリーのGlobal Standardから遅れてしまうことになりましょう。ですからクラブも採用などと気色ばらず、以下のような軽い気持ちで話し合っ見ては如何でしょう。もしお手元に資料が無ければRIのホームページ、RI日本事務局から245-Jaという文献を取り寄せてください。不明なときにはガバナー事務局にお問い合わせください。またあなたのクラブ計画書の冒頭に“クラブリーダーシップについての地区見解”を掲載しておきましたから一度はお目通しください。

#### 2) 5委員会を常任委員会とすることが記されていること。

これはクラブの委員会構成を5つに纏める（統廃合する）事と読み違えられています。この5委員会はクラブ

# プラン(CLP)を解剖する。(Part1)

国際ロータリー2760地区ガバナー 江崎柳節

の衰退化を予防し活性化させる要諦であることは多くの消滅したクラブから学んだRIの検証事項であり、本当は検討に値する(委員会)項目であります。ただしクラブが今持っていて十分機能している委員会は大いに賦活してあげてください。

### 3) 「採用する」というクラブに変革を要するかの如き考え

検討すればするほど合理的な近代的な運営管理のアイデアに満ちているが、いままでのRIの推奨クラブ細則に則ってきた流れの中で、この細則が根こそぎ一変するが如きお考えは間違いであります。検討してみてこれはよいことだと気が付いた点だけを“良いとこ取り”をするのが賢明な態度であろうと思われれます。変更事項と内容によってはクラブ細則の変更を要すると思われれますがこの手続きをためらってはならないと思います。クラブのマンネリの元凶がここにあるのです。細則を変えないで長年運営されている組織が良い組織とは言えないことは皆さんもご理解頂けることではないでしょうか。

### 4) 職業奉仕が奉仕プロジェクトに詳述されていない

これこそ誤解の最大のものでしょうか。ロータリーの根幹は“ロータリーの綱領”にあることは誰もが知っていることです。クラブ運営管理の一ガイドラインでしかないCLPに4大奉仕のことが盛り込まれている筈がありません。この誤解を解き改めて4大奉仕が永劫普遍的ロータリーが遵守すべき規範であることを確認するために今年4月の規定審議会であらためて4大奉仕がRIの定款に入れるよう制定されました。これは日本の提案であったことが興味あることなのであります。

この様に日本のクラブが憂慮していた諸条件については徐々にではありますが理解が進み、検討を始めるクラブが増えて来たように思われれます。このCLPは国際ロータリー100年の歴史の中でクラブに対する提案としては最大の贈り物であると評価されています。

さてCLPが問題意識を持たれている割にはその内容が正確に理解されていないという珍しい現象が起こっております。あらためてCLPが提起している5つの問題点を上げておきます。

#### 1) クラブ管理運営

CLPとは無関係に以前から当地区では注目してきた問題点でもあります。申すまでもなく4大奉仕の中で職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕はロータリーがそのクラブの機能をかけて外に向かって奉仕する目的を持っていわば奉仕の方法論を問題にしますが、クラブ奉仕は違います。会員の自己研鑽、奉仕の理念の会得、倫理の高揚、相互理解と親睦、クラブの魅力の培育、会員の増強・維持など今クラブに失われつつある最も大切な機能を効果あらしめるための「内に向かっての奉仕」なのであります。いわばこの奉仕はロータリーの本質論を論じ、実践する自己のための奉仕なのです。クラブ奉仕委員長の職掌が如何に大きなものか“手続き要覧”には書いてあります。3大奉仕を除くクラブ管理運営の小委員会は“増強”も含めて全てクラブ奉仕委員長の職掌のもとにあります。CLPではその中で重要な以下の項目3)、5)は独立させて常任委員会(理事会委員会)に入れることも提案しております。

# Governor Message

## ガバナーメッセージ ▼

### 2) 奉仕プロジェクト

クラブの奉仕様態を具に見ると、意外なマンネリがそのままにされていることが少なくないことに気が付きます。すでに行われているプロジェクトにロータリーが賛助、協賛、援助、顕彰しているに過ぎない奉仕であります。

これは時には地域の真のニーズに合っている最も良いことである場合が考えられ、一概には申せませんが、地域奉仕はニーズを再チェックして限られた資源を、時には一点限定であっても、ロータリーらしい奉仕が求められます。地域に対する社会奉仕も世界に対する国際奉仕も難しいこととは思いますがそれぞれのニーズを十分考慮され限られた資源を有効に役立てたいものです。それぞれの奉仕プロジェクトでは、ロータリーが十分吟味した有意義な楽しいプログラムがたくさん用意されていることをご記憶ください。そしてクラブだけの奉仕資源の不足に備えてロータリー財団がそれを支援する役目を始めていることを委員に理解させてください。

### 3) 増強

これは申すまでもなく現状の最重点事項であります。それ故にCLPではこの委員会を常任（理事会）委員会にするよう推奨しているのです。クラブの委員会構成で是非に知っておかなければならないことはクラブ奉仕委員長が3大奉仕委員会以外の全てのクラブ奉仕小委員会の統括責任者である事です。もしクラブ奉仕委員長が増強の最高責任者であるという職掌を忘れておいでになり増強の問題を理事会でお骨折り頂かないとその配下の小委員会である増強委員長はその無力さを嘆き悲しむだけになります。クラブ奉仕委員長さんは一度手続き要覧をみてその職掌を再認識してください。クラブに3大奉仕以外でトラブルが発生したときは会長、幹事に矛先が向いてはなりません。クラブ奉仕委員長がこれの解決に汗みどろになるお覚悟が要ります。試しに会長は審議執行の最高責任者、幹事は執行の責任者ではありますが、クラブ内の問題の審議、解決はクラブ奉仕委員長の専権事項であります。

### 4) ロータリー財団。米山奨学会

このところロータリー財団の存在が極めて理解されてまいりました。寄付だけでなく財団から還付される地区財団活動資金（DDF）が地区で注目されております。また米山の年間奨学生を受け入れが今では財団奨学生に匹敵する年間800人に達しアジアを中心に多くの国家的指導者、ロータリーリーダーを輩出するに至っています。財団の世界平和、人道救援、災害援助などロータリーが世界に誇る成果を上げつつあります。これについてはクラブの両委員長さんに卓話の機会を与えてお話をお聞きください。

### 5) CLPの5項目な最後は広報です。

広報とは自己宣伝ではなく、ロータリーのもつ公共イメージを高める努力とそれを地域に正しく認識してもらうことの意味の検討についてです。Polio Plusのもたらした壮大な成果をロータリアンは知らないという現状についての再検討が我々には急務ではないでしょうか。公式訪問の卓話などでお話したいと思っております。

### 結 語

CLPははからずも日本のロータリークラブの良い面と悪い面を浮き彫りにする効果をもたらしています。まず日本のロータリーは世界中で最も職業奉仕をロータリーのステータスにとらえ今日まで来ています。いま世界のロータリーで職業奉仕がおざなりになりつつあるとすれば今手を打っておかねばなりません。幸い先程の規定審議会で4大奉仕が堂々と国際ロータリーの定款に謳われ、永劫にロータリーの魂として何者にも侵されることのない金科玉条となったのは遅きに失した観さえあります。

そのような現状にあつてクラブを定期的にチェック、棚卸しを試みいつも活性化され、理念に継続性があり、会員全体の参加で運営されていることをクラブの誇りとするようにクラブの引き継ぎがなされることはそれほど難解な手続きではないようにもおもわれます。

CLPでお困りの会長さんには、ガバナー補佐、地区研修委員会（委員長鈴木孝則）、地区ロータリー情報委員会（委員長伴禎夫）、ロータリー未来委員会（委員長杉浦寿康）が全力を挙げてクラブを支援するようお願いしております。ぜひご相談ください。

# 職業奉仕月間に寄せて



2760地区職業奉仕委員長 成田 洋之

職業奉仕理念はロータリーの哲学として万古不易（永久に変わらない）

ロータリーの奉仕理念の提唱は、いずれも1911年、アーサー・フレデリック・シェルドンとベンジャミン・フランク・コリンズのサービス思想に起因している。

## ◎アーサー・フレデリック・シェルドンとサービスの思想

当時のシカゴは商道德は地に堕ちた暗黒時代であった。シェルドンは、商いの世界の荒廃した中であっても、例外的に公明正大な経営方針を堅持する商人が結局において成功しているという事実を発見し、その理由を探求した結果、「他人の立場を考え、他人のためになるように尽くすこと」すなわち「サービスの精神に従って行動する者こそが成功するのだ」との結論に達し、1910年第1回全米ロータリー・クラブ連合大会で、これを言い表すために「仲間に最も良く奉仕する者は、最も多く利得する」He Profits Most Who Serves His Fellows Bestを発表。これが原型となり、翌1911年ポートランド大会で「最善のサービスを行う者には、最大の利得がある」He Profits Most Who Serves Bestを提唱。このシェルドンの思想が職業奉仕のモットーになった。

## ◎ベンジャミン・フランク・コリンズとサービスの思想

ところがこの大会では、さらにもう一つの重要な提言がされた。コリンズが、その演説の中で、ロータリーの原則として「無私の奉仕」Service Not Selfを提言したのである。要するにサービス第一、利己第二、見返りを求めず人のためにつくす。コリンズは、問題をより簡単に徹底した表現を用いて呈示したわけです。ただ自己否定が強過ぎて適当でないとして、翌1912年テュルース国際大会で、「超我の奉仕」Service Above Selfと修正された。

そしてこの二つの提言は、広く知れわたり、1950年デトロイト国際大会で公式の標語として採択された。その後1989年シンガポール規定審議会で、Service Above Selfが第一標語に、He Profits Most Who Serves Bestが第二標語に指定された。

## ◎「決議23-34」はロータリーの不易の基本理念

1923年頃になると奉仕理念を巡る論争が絶えなかった。

職業奉仕派の人たちは、本質的なロータリー活動は職業奉仕であり、利益の適正配分、職業倫理の高揚、自己改善、理念提唱、個人奉仕であると主張。

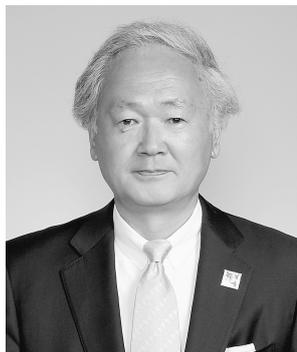
社会奉仕派の人たちは、弱者に涙することが人間の道であり、人道主義的活動、実践活動が重要で、金銭的奉仕、団体奉仕になることも止むを得ないと主張。

お互いが一歩も譲りませんでした。これを解決するために、職業奉仕と社会奉仕の理念の調和を目指して、職業奉仕を前提としながらも、一定の条件の下ではクラブの団体奉仕活動を認めた。これがあの有名な「決議23-34」でセント・ルイス宣言とも言われている。その第1項に、ロータリーとは、基本的には一つの人生哲学であり、自らの利益を求める利己の心と、他人のために奉仕したいという利他の心の中に存在する矛盾を和らげようとするもの。即ちロータリーの哲学はService Above Selfという奉仕哲学であり、He Profits Most Who Serves Bestという実践倫理の原理に基づくものであると規定。もっと分かり易いならば、根本的に、人間は自己のために利益を得たいという欲望がある。しかし一方で 人様のために尽くさなければ相すまんという良心を持っている。この欲望と良心の争いをうまく調和するのがロータリーの人生哲学である。

この第1項でロータリーの奉仕理念が明確に定義された。以後「決議23-34」はロータリーの不易の基本理念として二つの標語と共に今日に至っている。



## 米山月間によせて



米山奨学委員会委員長 大西 弘 高

2760地区のロータリアンの皆様には米山奨学事業へのご支援、ご協力大変ありがとうございます。  
ございます。

米山奨学事業はロータリーの理想とする国際理解と相互理解に努め、国際親善と交流を深めるために優秀な留学生を支援し、国際平和の創造と維持に貢献することを目的としています。

米山奨学生は奨学期間中に、ロータリーの例会やロータリーの奉仕活動に参加することによって日本の文化、習慣などを学ぶことにより、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人物となることが期待されます。

米山記念奨学会では、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に対して奨学金を支給しています。

年間の奨学金支給額はおよそ13億円。1967年に財団法人として許可されて以来、これまで107ヶ国から13,000人を超える奨学生を支援してきました。規模と実績ともに、民間最大の留学生奨学団体となっています。

現在、全国で800名（2760地区は34名）の奨学生を支援しておりますが、最大で1,100名（年間）の奨学生を支援していた年がありました。ロータリアンの会員減少に伴い、20億円超あった寄付金が現在15億まで減少しています。

ロータリアン1人1人に、米山奨学事業の素晴らしさをご理解いただき、更なるご支援をお願い申し上げます。

米山奨学事業へのご理解を得るには奨学生と直接会い、お話をし、友情を深めることが一番だと私は思っております。2760地区では年に4回、奨学生、学友（元奨学生）と親睦を兼ねた研修会を行っております。

各クラブの米山委員長、カウンセラー、ロータリアンの方も是非参加していただき、素晴らしい優秀な奨学生と懇談を深めていただきたいと思います。

# ガバナー公式訪問報告

## 刈谷ロータリークラブ

会長 橋本 恭典



8月6日に江崎ガバナー、河村地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催しました。例会に先立ち当クラブの橋本会長、塚本会長エレクト、石川副会長、鈴木幹事、廣根副幹事と懇談いただき、クラブの運営や活動方針に対してのご指導・ご助言をいただきました。例会での卓話では、江崎ガバナーよりクラブ・リーダーシップ・プランの重要性のお話があり、クラブの運営管理、奉仕プロジェクト、財団への寄付、会員強化、クラブ広報の5項目を念頭に取り組んでほしい、とのことでした。

また、世界平和の実現に向け、国際的な理解を深めるためのロータリー世界平和フェローの活動についてご紹介がありました。当地区から世界平和フェローが選出されるかもしれないとのこと、実現できますことを心より願う次第です。

江崎ガバナーのご見識あふれる卓話をお聞きし、私どもクラブ会員も、さらなる発展に向けて心を新たにしました。有意義な例会となりましたこと、心よりお礼申し上げます。

## 江南ロータリークラブ

会長 樋江井 誠

8月9日(木)35°Cを超える猛暑の中、江崎ガバナー、河村地区幹事、船橋地区副幹事をお迎えし、公式訪問を開催しました。



例会前の会長・幹事懇談会では、ガバナーより中越沖地震被災者に対する義援金の要請、また100万ドル昼食会に対する感謝を申し述べられました。本年度クラブ計画で特に力を入れていきたいローターアクト（若い世代の育成）・親睦活動（魅力あるクラブ作り）・社会奉仕（地域に対する奉仕活動の充実）・会員増強（クラブ上げての増強活動の取組み）の他クラブの取組み方、また成功例などを挙げてご指導を頂き、大変有意義な懇談会となりました。

ガバナーは例会卓話でも“ロータリークラブは現在のままの会員増強程度を2025年まで続けていくと、1/3位のクラブは消滅するか、あるいはその機能を失うであろう。年間を通じて相当数の会員増強を続けてはじめてプラスマイナス無しの横ばいを維持できると思われる”と会員増強に対する必要性を強く説かれ、（最後に）「江南クラブがホストである地区大会を後々まで心に残る大会にしましょう」と結ばれました。

## 豊橋北ロータリークラブ

会長 川口 雄三

## 豊橋南ロータリークラブ

会長 吉野 勝己

ガバナー公式訪問を迎えるにあたり、豊橋南ロータリークラブの会長、幹事さんとの事前の打ち合わせで「100万ドル例会」への参画を考え、飾り気のないシンプルな例会にしようという事で両クラブの意見を統一しました。

例会前に割いて頂いたガバナー、地区幹事両氏との懇談はクラブの運営に大いに勉強になりました。

公式訪問のプログラムでは、ガバナーから直に本年度の地区の運営方針を説明して頂き、会員一堂よく理解できました。また最近のロータリー財団のプログラムの多面性、クラブ奉仕委員会の重要な位置付け等、多岐にわたりお話いただき江崎ガバナーのロータリーにかける情熱を感じることができました。

微力ですが今後のクラブ運営に反映してゆきたいと思えます。ありがとうございました。



## 豊田中ロータリークラブ

会長 小野 朝康

## 豊田東ロータリークラブ

会長 小松 正伸

8月10日(金)豊田中RCがホストクラブとなって、豊田東RCとの合同で、江崎ガバナー、河村地区幹事をお迎えして公式訪問が行われました。

例会前に行われた「会長・幹事懇談会」では、クラブ運営・クラブ活動について説明し、今後の運営活動への大変有意義なご指導を頂戴いたしました。

例会においては、冒頭両クラブの特筆すべき活動（豊田東RCは区長さんを取り込んで行われた社会奉仕活動・豊田中RCは同好会活動を取り入れた会員増強活動）を推奨していただき、続いてRI会長方針、地区方針、RCのIT格差への取り組み、国際奉仕活動、ロータリー財団等、有意義な卓話をいただきました。最後に「世界中のロータリアンは、普通の人間でありながら凄いことができるので、我々はロータリーマジックと呼んでいます。」と結ばれました。

この公式訪問の、示唆に富み意義ある卓話を糧に、両クラブの発展につなげてまいりたいと存じます。





## << ガバナー公式訪問報告 >>

### 名古屋中ロータリークラブ

会長 伊藤 秀樹

1. 8月20日(月)江崎ガバナーと河村地区幹事お二人にて名古屋中RCに公式訪問
2. 11時からの懇談会は加納バスターガバナー、杉本現ガバナー補佐同席のもと現会長の伊藤秀樹、副会長の鈴木強、幹事の鶴飼泰光および次年度の予定者である野口ミニと白滝幹事以上の9名にて開催
3. 名古屋中RCの今年度の方針と行動指針を説明し、ご了解をいただくとともにアドバイスを大所高所からいただいた
4. 具体的な報告としては
  - \* ガバナー補佐を支援する仕組みとして地区支援委員会を作り、地区幹事およびIM実行委員長を指名して、補佐の行動を支援し、かつクラブ内での情報の共有をスムーズにはかり行動をし易くした点に好感を持っていただいた
  - \* 今年度地区に12委員会9名を輩出している現状をかんがみて、将来的には財団および米山の奨学生を一人でも多く推薦すべくアドバイスをいただいた
5. 総括的には
  - \* 名古屋中RCの活動状況をつぶさに実感していただくと同時にCLPに関するガバナーの視点からの解説をいただき、クラブ運営の困難時や想定されるであろう将来動向を考える際にはCLPの原点に立ち返って、発想を取りまとめることが肝要である旨のアドバイスを拝聴させていただいた
  - \* 何よりもRCの活動の意義と青少年の将来、ポリオを筆頭とする世界の貧困層への援助を熟つぽく語られた
6. 会長として
 

緊張の数時間でしたが、RC活動の巨視的な見方や行動のあり方を様々な例をあげて説明していただき、今後のクラブ運営の参考にしていべき考え方をあらためて整理するいい時間になりましたこと名古屋中RCを代表して心より感謝いたします

### 名古屋和合ロータリークラブ

会長 岩田 玄知

- 8月22日、残暑厳しき折、ウェスティンナゴヤキャッスルにおいてガバナー公式訪問が行われました。
- 例会に先立って、江崎ガバナー・河村地区幹事と岩田会長・名倉幹事・谷会長エレクトとの懇談会がひらかれ、クラブ計画書をもとにアドバイスをいただきました。和合クラブ独自のクラブ奉仕プロジェクト・会員増強プロジェクトに対して高い評価をいただきました。
- 特にクラブ奉仕委員長のクラブにおける役割の重要性をご指摘いただき、まさしく我がクラブにおいても同感するところでした。
- 引き続き例会においては会員全員による和合クラブオリジナルウェルカムソングの合唱で江崎ガバナー・河村地区幹事をお迎えし、和やかな雰囲気の中進行してまいりました。
- 江崎ガバナーは卓話の中でRotary Magic (ロータリーという環境の中に我々がいるから面白いことがおこる。ロータリアンが等しくかかる魔力)のお話をされ、強い感銘を受けました。
- また自クラブの小牧クラブを例にロータリー青少年交換学生のすばらしさにふれられました。
- 「小牧クラブでは30年あまり毎年交換学生を送り出し・受け入れており、すばらしい体験をして成長した多くの立派な人材を輩出してきた。そのことは地域における宝である。
- ロータリー活動がそのような形で地域に貢献できることがクラブの活動の活性化にもつながる。」
- 数々の示唆に富んだお話を伺いとても有意義な時を過ごさせていただきました。
- 江崎ガバナー・河村地区幹事ほんとうにありがとうございました。

### 東海ロータリークラブ

会長 村瀬 秀和

### 大府ロータリークラブ

会長 渡辺 秀雄

- 東海・大府両クラブ合同で、江崎柳節ガバナーと河村嘉男地区幹事をお迎えました。
- 例会前の会長・幹事懇談会では、江崎ガバナーは先般のガバナー補佐訪問報告をつぶさに勉強してこられ、両クラブの現状についてとても詳しく把握しておられご指導いただきました。講話では、両クラブのWCS活動やクラブ管理、運営について良い点をお褒めいただきました。CLPについてもお話いただきました。
- それから、地区テーマ「違いをもたらそう」について、『ポリオ・プラス』『識字率向上』『ワールドサッカー日韓共同開催 成功を支えた米山奨学生』『ユニセフ・ユネスコ 国連教育文化機構誕生への関与』など、ロータリーの奉仕のすばらしさを再認識させていただく中、私たちは本年度の事業を遂行する決意を新たにいたしました。



### 尾張旭ロータリークラブ

会長 笹田 博茂

### 瀬戸ロータリークラブ

会長 寺田 悟

- 尾張旭RCのホストにより、瀬戸RCとの合同例会を開催し、江崎ガバナー、河村嘉男地区幹事をお迎え致しました。
- 例会に先立ち、両クラブ会長、幹事懇談会では、両クラブの本年度の方針の説明がありガバナーより運営、活動等多岐にわたってご指導をいただき、また地区におけるCLPに対する動向とか、危機管理委員会についての現状説明も大変参考になりました。
- 例会でのガバナー卓話では、100万ドル例会についても趣旨説明、米山記念奨学会制度とロータリー財団の意義、そして、今後のロータリーの方向性としては、クラブを超えた指導者の育成の重要性を強調されました。
- 約45分間の卓話でしたが、懇切でいねいな話の内容に会員一同江崎ガバナーの魅力あるお人柄に感銘を受けました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



# ガバナー公式訪問報告

## あまロータリークラブ

会長 伊藤 英毅

本年度のあまロータリークラブに対するガバナーの公式訪問は8月27日開催され、江崎柳節ガバナー、河村嘉男地区幹事をお迎え致しました。10時半よりの会長幹事懇談会では今年度のクラブ計画書についてご説明を致しました。また、当クラブの問題点も取り上げられて、今後のクラブ運営のご指導、ご示唆を頂きました。約1時間半の話し合いでしたが少しも長いとは感じないほど充実したものでした。このことを糧として本年度のクラブ運営に関して生かして行こうと思いました。

記念すべき日の例会に於いて、新入会員、宮下君にガバナーよりラベルボタンを胸に付けて頂きました。また、紹介者の大竹君と渡辺均君には紹介者バッジが授与されました。これを機会に増強も私達のクラブにとって大切なテーマですので、来週の増強の委員長黒野君のフォーラムを成功させることをお約束致しました。例会でのお話は地域に密着した行動と国際的な活動に関してロータリーとして求められていることをお話になりました。

今一層、私達の行動すべき目標を噛み締める機会になりました。ご多用の折貴重なお時間を頂戴して本当に有り難うございました。



## 豊川ロータリークラブ

会長 鈴木 憲一

## 新城ロータリークラブ

会長 壽 昌宏之

(ガバナー公式訪問を終えて)

8月29日、ようやく暑さが終盤となった頃、江崎ガバナー、河村地区幹事をお迎えして豊川・新城RCの合同ガバナー公式訪問例会を開催しました。

例会に先立ち行われた会長・幹事懇談会では、江崎ガバナーの備えておられる穏やかな雰囲気にならわれ、両クラブより普段感じていること、疑問の点などを遠慮なくお話しさせていただきました。的確なアドバイス、励ましを頂戴しました。

例会では、両クラブの現状、RI会長テーマ、地区運営方針について解説いただきました。両クラブの現状については、こちらが驚くほど見抜かれており、丁寧なご指導をそれぞれのクラブに対していただきました。今後のクラブ運営に役立ててまいります。また、ガバナースピーチの中から、クラブ奉仕の重要性を再認識し、ロータリーマジックの不思議な力を感じることができ、会員一同大変良い勉強をさせていただいた例会となりました。



## 豊田ロータリークラブ

幹事 梅村 泰弘

8月30日(木)江崎ガバナーと河村地区幹事をお迎えし、会長幹事懇談会に引き続き、ガバナー公式訪問例会が開催されました。

懇談会の席では、豊田ロータリークラブの本年度の活動計画に基づいた現状報告をお話させていただき、その後意見交換をさせていただきました。

江崎ガバナーより多くのご示唆をいただいた中で、特に昨年度発足致しました豊田広域ローターアクトクラブの提唱主管ロータリークラブとして、今後の支援の仕方等、具体的にわかりやすくご説明をいただきました。

また、懇談後の例会開催前の短いひと時でありましたが、江崎ガバナーと河村地区幹事そして、当クラブの斎藤直前ガバナー、藤井直前地区幹事、孕石本年度会長と親しく楽しくお話をいただきました。

例会での江崎ガバナーからのお話は、本年度RIテーマ「Rotary Shares」について、わかりやすくご説明をいただきました。そして、本年度の地区運営方針であります「違いをもたらそう」についても、昨今では、多くのNPO奉仕団体が存在する中で、今こそロータリーの高邁な倫理性、高い専門性、職能性をベースにロータリーらしい奉仕で、社会に感銘を与える必要があるとお話をいただきました。また、地区の補助金もおおいにご利用いただき、すばらしい事業を実施いただきたいと当クラブに対して期待を込めたお話をいただき、大変充実した例会となりました。ありがとうございました。

## 西尾KIRARAロータリークラブ

会長 岡田 義雄

## 西尾ロータリークラブ

会長 田中正規

8月31日(金)は江崎ガバナー・河村地区幹事をお迎えし、西尾ロータリークラブ・西尾KIRARAロータリークラブの2ロータリークラブ合同の例会を開催致しました。

例会に先立ち懇談会では、2クラブの現状報告の後、意見交換をさせていただきました。特に西尾クラブの50周年事業について、ねぎらいのお言葉と貴重なアドバイスを頂戴いたしました。

例会卓話では、江崎ガバナーより本年度RIのテーマについてわかりやすくお話を頂き、カレーライス例会の主旨の説明も頂きました。

又、地区への出向に力を入れて欲しいとのご要望もありました。

西尾クラブさんとの交流が出来た事も含め、今回の合同例会は実り多きものがあつたと感謝しております。





## 2006～2007年度青少年交換派遣生帰国報告会

青少年交換委員長 安藤 隆利

去る8月18日（土）、ウィル愛知の大会議室に於いて青少年交換委員会主催による帰国報告会が催されました。当日13名の帰国生が夫々の体験を熱く語ってくれましたが、大部分の生徒に共通するのは、はじめは言葉も何も解からず苦勞をしたこと、でも時間が経つにつれ派遣地の人々と打ち解け、その国の文化・風習・歴史を学ぶことができたということでした。

又、多くの友達が出来、各地からきた留学生とも交流し広い視野での友情の輪を広げる事が出来、非常に有意義であったとも語ってくれました。

彼らは2年前に選考試験に合格し1年間のオリエンテーションを経て各地へ派遣された訳ですが、1年前のあの不安と期待と緊張感を漂わせていた生徒は何処へいったのでしょうか？

現在、彼らは皆自信に溢れて自分の体験を報告してくれました。そしてロータリアンや家族に感謝の言葉すら述べるようになりました。彼らは異国の地に於いては自分自身が 努力活動しなければ何事も進まないことを知ったはずです。そしてそれを実践してきた事が彼らの自信に繋がっていると思われまます。

この報告会は生徒の家族のみならず、ガバナーはじめ各クラブの国際奉仕委員長や多くのロータリアンにもお聞きいただきました。そして多くの感動を覚えていただけたのではないかと考えております。

このような素晴らしい結果を得ることの出来る青少年交換活動に益々のご協力とご支援をお願いいたします。



## 2007～2008年度 第2760地区職業奉仕委員会委員長会議

### 国際ロータリー第2760地区職業奉仕委員会委員長

委員長 成田 洋之

去る8月21日、2007年度～2008年度 第2760地区職業奉仕委員会委員長会議が、名鉄ニューグランドホテル（名古屋市中村区）「扇の間」で開催された。

今回の会議は「職業奉仕」の理念について理解を深める主旨で開催され、元地区職業奉仕委員長の関口宗男氏による講演「ロータリー職業奉仕の理念について」と、それを受けて各分区で「職業奉仕におけるワンディファレンスとは」をテーマに討論するという二つが主な内容。

「職業奉仕」という、他の様々なボランティアにはない独特の考え方に対する理解を深めることは、ロータリーという活動、団体自体への理解も深まるものと思われる。

午後12時40分、成田地区職業奉仕委員会委員長の点鐘で幕を開けた会議は、開催宣言、出席者紹介、ガバナー挨拶、委員長挨拶などを経て、第1部となる講演へと進んだ。

講演は、関口氏と成田氏の新旧地区委員長が編纂した冊子『ロータリーの軌跡と目的』をテキストとし、講師である関口氏が過去の様々なロータリー論を紹介しながら、職業奉仕の理念に迫るというもの。

解説は、ロータリーの成り立ちから始まり、黎明期における理念の変遷、奉仕（サービス）の意味、職業奉仕の考え方と、主に年代に沿って「職業奉仕」がロータリーのなかでどのように位置付けられたかを紹介するもので、いわばその理念の成り立ち＝軌跡を追体験することで「職業奉仕」への理解を深めるという内容であった。

短時間でロータリーの歴史を俯瞰するかなのような中身の濃い講演であったため参加者はテキストと講演に集中することとなり、関口氏の声以外に聞こえるのは頁を捲る音だけ。「これまでで最も勉強した会議だったのでは」という声も聞かれたほどだった。

中身の濃い講演の後、20分の休憩を挟み、第二部へ。

テーマは「職業奉仕におけるワンディファレンスとは」。これは、「違いをもたらそう」という江崎ガバナーのテーマを反映し、職業奉仕の理念をロータリーとしていかに実践するか、ロータリー独自の取り組み方について考えるというもので、各分区ごとのテーブルで討論がスタートした。

難しいテーマだけに、議論が深まるまでには時間を要したが、たつぷりと設定された時間（約1時間半）の経過の中でテーブル内でのコミュニケーションも円滑となり、テーブルごとで様々な意見が交わされることとなった。アシスタントリーダーとして太田元地区委員長が各テーブルを回り、ヒントをアドバイスしたことも議論の活性化をサポートした。

討論終了後、いくつかのテーブルに討論内容の発表を求めたが、「どの経営者もコンプライアンス遵守では同じだが、ロータリアンはより一層高い倫理観を持つべき」、「職業奉仕には、自社において企業倫理を守り社会に貢献するという内向きの面と、社会全体の働く人をサポートするという外向きの面がある」など、様々な視点から職業奉仕が議論された模様。講師を務めた関口氏は、「例会を通じて奉仕を理解し、実践することがロータリーの独自性ではないか」と寸評した。

江崎ガバナーによる講評は、「こんなに質の高い勉強会の後で、講評するのが辛いですが」と会議の真剣さに感嘆する枕に始まり、「一般社会に職業奉仕の理念を伝え、人を育てることが大切」、「『奇跡の存在』といわれるロータリーの一員であることを自認し、ロータリアンとしての正義感を感じる事がワンディファレンスにつながる」、「職業というのは、利益を得るためだけでなく、社会奉仕。正直にお客様に奉仕すれば、企業は必ず栄えるのです」などと、総括した。

「職業奉仕」というロータリー特有の理念は、短時間の勉強会で習得、理解できるものではない。この充実した会議を契機とし、職業奉仕並びにロータリーの意義について各分区でも更に議論を深め、今後の活動に繋げることを期待したい。





## 国際ロータリー 第2760地区 第2回地区諮問委員会

日時：2007年9月1日(土) A.M. 11:00～  
場所：名鉄グランドホテル

◇江崎ガバナー挨拶

◇協議事項

[出席者]

福田 P.D.G.	盛田 P.D.G.	加納 P.D.G.
神戸 P.D.G.	石川 P.D.G.	松本 P.D.G.
内藤 P.D.G.	野村 P.D.G.	福田 P.D.G.
豊島 P.D.G.	大島 P.D.G.	高橋 P.D.G.
斎藤 P.D.G.	江崎 D.G.	片山 D.G.E.

[オブザーバー]

藤井直前地区幹事 伊藤直前地区会計長  
河村地区幹事 宮崎次期地区幹事  
五藤地区副幹事

[欠席者]

奥谷 P.D.G.	宮地 P.D.G.	蜂谷 P.D.G.
太田 P.D.G.	岡部 P.D.G.	

1. 2007～2008年度 地区大会関連委員会の件
2. 2006～2007年度 地区会計決算(案)承認の件
3. 2010～2011年度 国際ロータリー第2760地区ガバナーノミニー候補者推薦の件
4. 2008～2009年度 ガバナー補佐候補者推薦の件
5. 2008～2009年度 地区研修リーダーの件
6. 第2760地区ロータリークラブ50年在籍者表彰の件
7. 2007～2008年度 地区大会決議案採択の件
8. R I 理事指名委員会の委員選出の件
9. その他

◇報告事項

- ・2007～2008年度地区大会 R I 会長代理について
- ・第2760地区会員数について
- ・ガバナーエレクト事務所開設について
- ・新潟県中越沖地震災害義援金について

### 2007年10月地区主要行事

<地区委員会>

- |   |  |
|---|--|
| <p>◆10月5日(金) 13:00～15:00<br/>第2回ロータリー財団委員会及び<br/>7委員会正副委員長会議 名鉄グランドホテル</p> <p>◆10月5日(金) 15:00～<br/>第3回ポリオプラス委員会 名鉄グランドホテル</p> <p>◆10月8日(月) 14:00～<br/>第2回GSE R, I. 第2510地区合同委員会<br/>札幌グランドホテル</p> <p>◆10月9日(火) 15:00～16:30<br/>第2回広報委員会 ガバナー事務所分室</p> <p>◆10月13日(土) 16:00～<br/>第10回GSE委員会 ガバナー事務所分室</p> | <p>◆10月16日(火) 14:30～16:30<br/>第1回インターアクト委員会 ガバナー事務所分室</p> <p>◆10月19日(金) 15:00～16:30<br/>第4回恒久基金委員会 ガバナー事務所分室</p> <p>◆10月23日(火) 14:00～16:00<br/>第4回新世代委員会 ガバナー事務所分室</p> <p>◆10月24日(水) 14:00～16:00<br/>第2回拡大委員会 ガバナー事務所分室</p> <p>◆10月27日(土) 14:30～16:00<br/>第11回GSE委員会 ガバナー事務所分室</p> |
|---|--|

<地区内クラブ委員長会議>

- ◆10月24日(水) 15:00～19:30 地区ロータリー財団委員長会議 名鉄グランドホテル

<式典及び記念行事>

- |                              |          |
|------------------------------|----------|
| ◆10月10日(水) 名古屋名東RC創立30周年記念式典 | 名古屋国際ホテル |
| ◆10月16日(火) 名古屋千種RC創立25周年記念式典 | 愛知厚生年金会館 |
| ◆10月25日(木) 一色RC創立45周年記念式典    | 松葉       |

## 【地区世界社会奉仕委員会からのお願い】

2006～2007年度・2007～2008年度とラオス人民民主共和国、ルアンプラバン、ハットファイ村小学校、ホアイサラ村小学校と2校建設引渡しを行ってきました。

今年度もナタック村生徒数約400名の所で小学校建設の計画をしており、来年1月末に引渡しをする予定です。

現地では、学用品が乏しくせっかく器を建てても中身がないことには始まりません。そこで、鉛筆・ノート・ボールペン・消しゴム・紙・等を地区の皆様の好意により、11月中頃までに寄付をいただきたくお願いいたします。

なお、ラオスの子供たちは、1年中、同じシャツやパンツを着たぎりの状態です。3歳位から小学生位までのTシャツ等子供服の寄付もあわせてお願いいたします。

皆様のあたたかい贈り物は愛知長久手ロータリークラブにて取りまとめ船便にて送りたいと思います。

そして、来年の1月末から現地に行き、直接手渡しで子供に渡したいと思っています。現地の子供の喜びの顔を見たい方は是非、視察旅行に参加してください。

どうかよろしくお祈りいたします。

世界社会奉仕委員会委員長 籠 橋 美 久

WCS委員取りまとめ役 愛知長久手ロータリークラブ 佐 藤 文 昭

## 第2760地区各クラブ国際奉仕委員長の皆様へ

地区国際奉仕委員長 鈴木 吉 男

地区国際奉仕委員会ではかねてよりお知らせ致しておりますように今年度の事業の1つとして「第3回 NAGOYA UNDOUKAI」への特別協力を掲げておりましたが、これは名古屋商工会議所の事業の1つで、ポスト万博で盛り上がった国際化への気運を一層盛り上げると共に、身近な軽スポーツを通じて外国人就業者やその家族、外国人留学生との交流を図る事を目的とした事業でもあります。

地区国際奉仕委員会と致しましては、青少年交換留学生や米山奨学生、そしてロータリアンの企業で働いてくれている外国の人々やその家族など身近なところにいる外国人達の交流の手助けの一助になればとの考えから皆さんにお知らせすると共に、この様な外国の人々の参加へのご協力をご依頼するものです。

下記のような詳細で行われますので是非参加下さるようにお勧め頂くと共にお取次ぎ願えれば幸いです。

### 第3回 NAGOYA UNDOUKAI

日 時	2007年11月25日(日) 10:00～15:00
場 所	愛知県武道館 住所:名古屋市港区丸池町1-1-4
参加資格	① D2760地区のロータリー会員企業で働いておられる外国人労働者及び家族の皆さん ② D2760地区青少年交換留学生の皆さん ③ 米山留学生・学友の皆さん及びご家族の皆さん ④ 各ロータリーで関係のある留学生の皆さん
問い合わせ 申 込 先	名古屋商工会議所企画振興部 住所〒460-8422 名古屋市中区栄2丁目10番19号 TEL (052) 223-5709 FAX (052) 231-5703 E-mail: undoukai@nagoya-cci.or.jp U R L : http://www.nagoya-cci.or.jp
申込期限	2007年10月25日(木)

## (財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

★ ハイライトよねやま91号 ★

2007年9月12日発行

### ● 今月のトピックス

1. 寄付金速報 — 10月の米山月間に向けて —
2. 理事会・評議員会開催報告  
— 役員改選で、新理事長就任 —
3. 中国の学友から50万円の寄付  
【米山学友 姫 軍さん】
4. 訃報 元米山理事の衣笠秀夫氏 逝去

詳細は、米山記念奨学会ホームページ【<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>】をご覧ください。



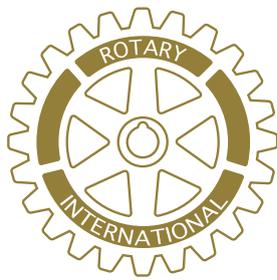
## 会員数及び出席報告 (平成19年8月)

クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月	入会	退会	例	8月	
	2007年 7月1日	7月1日 女性	2007年 8月末日	女性	8月	8月			累計
半田	59	3	60	3	0	1	0	4	95.10%
常滑	51	0	52	0	1	1	0	4	98.84%
東海	60	2	61	2	0	1	0	4	94.19%
東知多	22	1	22	1	0	0	0	4	87.50%
半田南	46	1	47	1	1	1	0	3	99.21%
知多	23	0	23	0	0	0	0	3	91.30%
大府	22	1	22	1	0	0	0	4	87.50%
<b>7RC</b>	<b>283</b>	<b>8</b>	<b>287</b>	<b>8</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>93.38%</b>
一宮	80	0	82	0	1	2	0	4	98.65%
津島	76	3	76	3	0	0	0	4	87.08%
尾西	28	1	29	1	0	1	0	3	94.25%
一宮北	51	0	51	0	0	0	0	4	90.74%
稲沢	56	0	56	0	0	0	0	4	86.11%
あま	89	0	90	0	1	2	1	3	98.78%
名古屋清須	39	1	39	1	0	0	0	3	86.10%
尾張中央	46	0	45	0	0	0	1	4	88.96%
一宮中央	52	5	53	5	0	1	0	4	93.71%
<b>9RC</b>	<b>517</b>	<b>10</b>	<b>521</b>	<b>10</b>	<b>3</b>	<b>6</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>91.60%</b>
瀬戸	80	3	79	3	0	0	0	4	100.00%
犬山	79	0	82	0	1	3	0	3	100.00%
江南	55	1	55	1	0	0	0	4	93.13%
小牧	38	3	38	3	0	0	0	4	95.71%
春日井	62	2	63	3	1	1	0	4	97.55%
尾張旭	30	0	31	0	0	2	1	4	98.38%
名古屋空港	57	3	58	3	0	1	0	3	100.00%
瀬戸北	72	5	73	5	4	4	1	3	100.00%
岩倉	19	1	19	1	0	0	0	3	94.73%
名古屋城北	21	2	21	2	0	0	0	3	87.50%
愛知長久手	26	3	26	3	0	0	0	3	88.46%
<b>11RC</b>	<b>539</b>	<b>23</b>	<b>545</b>	<b>24</b>	<b>6</b>	<b>11</b>	<b>2</b>	<b>5</b>	<b>95.95%</b>
名古屋	182	0	187	0	3	5	0	3	92.72%
名古屋西	96	0	99	0	0	3	0	4	87.34%
名古屋南	118	0	119	0	0	1	0	4	92.27%
名古屋みなと	76	0	76	0	0	0	0	4	90.79%
名古屋東南	67	5	79	5	1	12	0	4	90.26%
名古屋中	138	0	139	0	2	2	1	3	98.36%
名古屋瑞穂	72	0	72	0	0	0	0	4	98.50%
名古屋大須	68	3	69	3	0	1	0	4	91.77%
名古屋栄	68	0	71	0	0	3	0	3	93.14%
名古屋名南	74	13	74	13	0	0	0	3	98.97%
名古屋名駅	93	3	97	3	4	4	0	4	97.28%
名古屋西南	46	6	49	6	2	3	0	4	96.24%
<b>12RC</b>	<b>1,098</b>	<b>30</b>	<b>1,131</b>	<b>30</b>	<b>12</b>	<b>34</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>93.97%</b>

	クラブ	平均
平均出席率	81	94.64%

クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月	入会	退会	例	8月	
	2007年 7月1日	7月1日 女性	2007年 8月末日	女性	8月	8月			累計
名古屋北	96	0	97	0	1	2	0	4	99.70%
名古屋東	82	0	87	0	2	5	0	3	95.19%
名古屋守山	62	7	61	7	0	0	1	4	93.61%
名古屋和合	98	0	99	0	1	1	0	4	89.13%
名古屋名東	59	7	59	7	0	0	0	3	100.00%
名古屋名北	48	7	48	7	0	0	0	4	96.97%
名古屋千種	58	6	60	6	0	2	0	3	92.63%
名古屋昭和	55	0	56	0	0	1	0	3	98.06%
名古屋錦	33	6	33	6	0	0	0	3	82.80%
名古屋東山	48	2	50	2	0	2	0	4	82.29%
名古屋葵	24	0	24	0	0	0	0	4	100.00%
<b>11RC</b>	<b>663</b>	<b>35</b>	<b>674</b>	<b>35</b>	<b>4</b>	<b>13</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>93.67%</b>
豊橋	119	4	118	4	0	0	1	4	93.68%
蒲郡	57	0	57	0	0	0	0	4	94.23%
豊橋北	90	2	92	2	1	2	0	3	98.36%
豊川	66	0	69	0	2	3	0	4	93.27%
田原	54	1	54	1	1	1	0	3	92.48%
豊橋南	63	0	64	0	0	1	0	3	92.80%
新城	50	0	50	0	0	0	0	5	94.00%
渥美	36	0	36	0	0	1	1	4	84.85%
奥三河	18	3	19	3	1	1	0	5	93.42%
豊川宝飯	57	2	57	2	0	0	0	3	88.70%
豊橋ゴールデン	59	0	59	0	0	0	0	4	99.04%
田原パシフィック	63	0	63	0	0	0	0	4	98.13%
豊橋東	45	0	44	0	0	0	0	4	86.04%
<b>13RC</b>	<b>777</b>	<b>12</b>	<b>782</b>	<b>12</b>	<b>5</b>	<b>9</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>93.00%</b>
岡崎	92	1	97	1	1	5	0	4	99.67%
豊田	77	0	87	0	2	10	0	4	100.00%
岡崎南	94	2	94	2	0	0	0	3	97.89%
豊田西	99	0	101	0	1	3	1	3	100.00%
岡崎東	62	0	61	0	0	0	1	4	95.10%
豊田東	78	0	81	0	0	3	0	4	96.59%
岡崎城南	75	0	75	0	0	0	0	3	96.67%
豊田三好	22	2	22	2	0	0	0	3	88.89%
豊田中	49	5	52	5	0	3	0	4	100.00%
<b>9RC</b>	<b>648</b>	<b>10</b>	<b>670</b>	<b>10</b>	<b>4</b>	<b>24</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>97.20%</b>
刈谷	92	4	93	4	0	2	0	3	100.00%
安城	60	1	60	1	0	0	0	4	95.46%
西尾	71	1	72	1	0	1	0	3	100.00%
碧南	79	0	80	0	0	2	0	4	97.80%
一色	29	0	29	0	0	0	0	4	97.41%
高浜	39	2	39	2	0	0	0	3	100.00%
知立	65	0	66	0	1	1	0	4	100.00%
西尾KIRARA	58	0	58	0	0	0	0	4	99.56%
三河安城	56	6	56	6	0	0	0	4	94.90%
<b>9RC</b>	<b>549</b>	<b>14</b>	<b>553</b>	<b>14</b>	<b>1</b>	<b>6</b>	<b>0</b>	<b>2</b>	<b>98.35%</b>

地区内クラブ数	81RC	2007年7月1日会員数	5,074名	内女性142	増加会員数(累計)	107名
		当月会員数	5,163名	内女性143	減少会員数(累計)	18名
		当月平均出席率	94.64%		差引純増会員数(累計)	89名



ROTARY  
INTERNATIONAL  
DISTRICT 2760



表紙に寄せて

#### シカゴの至宝 撮影 江崎 柳節

ロータリー100年祭の国際大会はシカゴで開催された。シカゴにはメトロポリタン(ニューヨーク)ボストン(ボストン)とアメリカにあっては3大美術館の一つがある。ここにもモネ、ルノワール、レンブラントなどは当然所蔵している。カイユボットという余り知られていない人の“パリの街、雨”はシカゴの至宝である。しばらく対峙して尚去りがたい絵であった。突然予期せぬドガの“踊り子”がツツとたたずんでいる。ドガは大学入試に問題として出されて手こずった忘れがたい思い出がある。ドガの踊り子シリーズはメトロポリタンでもオルセーでもみることが出来るがこのものは格別である。“50年もこだわり続けるなんて教育は心に大変な傷跡を残すね”。いつも仲間の教育者にこれを訴える。シカゴの至宝とも言える二つの作品がドガのガラス越しに一望できる場所を発見した。シャッターチャンス醍醐味である。(柳節)

#### ガバナー事務所

〒485-0041 小牧市小牧五丁目253  
小牧商工会議所会館5F  
TEL0568-74-6111 FAX0568-74-6112  
HP : <http://www.rotary2760.org>  
E-mail : [governor07-08@rotary2760.org](mailto:governor07-08@rotary2760.org)